

D Xの実現に向けて次々と生み出される新しい技術やツール。多岐にわたる分野で、従来の業務の在り方に大きな変革をもたらしつつある。組織内の作業効率の向上や、新たなサービスの提供などにつなげようと、官民間問わずさまざまな事業者が新技術と向き合い、試行錯誤を重ねている。

D Xで、社内の業務改善を図る事例が増えた。現場グーグルサイトで作成したの社員が自発的にITと向き合う環境づくりを進めるのはフジテック。同社の友岡賢二常務執行役員デジタルイノベーション本部長は、「教育に勝る投資はない」と語る。同社は単純作業を自動化できるロボティクス・プロセス・オートメーション(RPA)の導入を推進している。検査業務部門の定期検査報告書作成などで年間1330時間、会社全体で年間7280時間分の業務時間を削減した実績を持つ。活用しているRPAのうち、87%は現場にいるユーザーが主導して開発した。RPA以外にも米グーグルのツールを積極的に利用している。グーグルフォールを使用し、約1000種

現場主導で積極的に技術開発

フジテック

員を中心に「徐々に火が広がりつつある」。業務改善に大きく貢献した社員を表彰

ぐわんないツールが生まれる事例があると指摘する。ただ新しい技術の導入には「心理的な抵抗が生まれる」と友岡氏。業務改善が見込めるツールでも、やみくもに現場へ取り入れようとする混乱を招く。慣れた工程を変える不安を「いかに和らげるかが工夫のしどころ」との考えを示す。友岡氏が重視しているのは「パッションで訴え掛ける」と。自ら磨き上げたツールで業務効率が劇的に向上していく。以前には戻れないと感じるほど「不可能な状況」を持った便利な技術を作り、活用する楽しさを発信していく。

IT関連の技術。企業の継続的な成長のためにも効果的に技術を導入できるよう、実証などに取り組める人材の創出や、組織体制の整備が重要と言えそう。

福知山市が導入した浸水情報を対話アプリ「LINE」上で見える化するシステム(亀岡電子提供)



防災

大規模な自然災害が相次ぐ状況にあつて、内閣府はP4Dの開発も進んだ。災害対応へのデジタル技術の活用にも力を入れている。より迅速で的確な指揮命令ができるよう、被災時に必要な情報の項目や共有の在り方を整理した「日本版EIE(災害重要情報)」の策定を検討している。先進技術を開発した企業と地方自治体をマッチングさせる施策も開始。地域の特性に合ったテクノロジー導入を促す。被災状況の把握には、地理空間情報として各地の被害の大きさを共有できる「総合防災情報システム」を政府は運営してきた。国や自治体、民間事業者らが把握している情報を統一し、双方向での活用を実現する。

を、被災から30分以内に入手できる体制の構築を掲げ、年度末の取りまとめを目標として検討体制を調整中だが、統一した情報を活用できる対象範囲や個人情報などの取決めなどが議論の焦点になっている。2023年度に運用開始予定の新たな総合防災情報システムにも日本版EIEを反映させる。一部の自治体では先進技術を災害対応に活用し、効果を上げている事例も出てくる。ただ、多くの自治体は最新技術を知る機会が乏しいのが実情だ。こうした状況を踏まえ、内閣府は7月に「防災×テクノロジー」を立ち上げた。それぞれの自治体で抱える防災課題を踏まえ、先進技術を開発・運用している企業を紹介する。開設した専用だ。

8月末にはマッチングセミナーをオンラインで開催。亀岡電子(京都府亀岡市、川勝洋社長)が開発した浸水検知センサーを活用して、早期の住民避難につなげた京都府福知山市の事例などを紹介した。「セミナーに参加した自治体の反応は当初想定していたよりも大きかった」と、内閣府の担当者は取り組みに手応えを感じている。

11月上旬に岩手県釜石市、22年2月に西日本官民連携プラットフォームを立ち上げた。それぞれの自治体で抱える防災課題を踏まえ、先進技術を開発・運用している企業を紹介する。開設した専用だ。

企業と自治体をマッチング

内閣府

人材育成



システム部門の手ほどきを受けながら現場の社員が積極的にRPA制作に取り組んでいる(フジテック提供)

若き感性、築いた伝統。

社会が進化する。ニーズは多様化する。そのスピードは早まっている。しかし私たちは動じない。海洋土木という海原で果敢にチャレンジしてきたしなやかで若い感性が息づいているから。世界をきり拓いてきた技術力とノウハウそして築きあげた伝統があるから。安全と安心を守る。豊かな暮らしを作る。そして、次の時代を生み出していく。世の中が変わっても、その志は変わらない。若築建設

若築建設

〒153-0064 東京都目黒区下目黒 2-23-18
TEL.03-3492-0271 FAX.03-3490-1019
www.wakachiku.co.jp

人と地球にあたたかな技術、ハートテクノロジー。

海の息吹、大地の鼓動、そして都市の活気。地球の自然と快適な生活の調和こそ、私たちの願いです。人にあたたかな技術を追求し、夢を確かなカタチに育て、感動の明日を築いていきます。

東洋建設 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地
Tel.03-6361-5450
https://www.toyoconst.co.jp

海も、陸も、建築も。

人が生きる場所すべてが、私たちのフィールドです。

りんかい日産建設株式会社
〒105-0014 東京都港区芝二丁目3番8号 TEL 03(5476)1705 FAX 03(3454)0196 URL: https://www.mcc.co.jp/

未来にもっと輝きを

港や道路、橋、空港、鉄道、上下水道などをつくる建設技術。この技術を通して暮らしを支えながら、かけがえのない自然を守り、大切に育てていく。それがあおみ建設の目指す未来です。私たちは、明日をもっと輝かせるために、これからも努力し続けます。

あおみ建設株式会社
〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-2-3 住友不動産御茶ノ水ビル
TEL : 03-5209-7761 (代表) https://www.aomi.co.jp/

ここにしかない技術で未来を支える。



株式会社 不動テトラ
〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町7番2号 べんてるビル
TEL.03-5644-8500

「未来に足りないものは、ありませんか？」

私たちは、いつも問いかけています。
今を未来へつなげるために、
人と地球の生命力を高めるために。

100
生きるちからをつくる会社
KABUKI
Since.1921

株木建設株式会社
本店：〒310-0845 茨城県水戸市吉沢町311番地1
本社：〒171-8560 東京都豊島区高田3丁目31番5号
tel.029-248-0688
tel.03-3984-4111